

「前之浜小学校のチョイのチョイ踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立前之浜小学校

2 学年・人数

3・4・5・6学年（計24人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年6月～10月 総合的学習の時間(本校体育館・運動場)

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月2日(日) 小学校運動会

令和4年10月15日(土) 鹿児島市さつまっ子育成市民大会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

チョイのチョイ踊り(ちよいのちよいおどり)

※ ふりがなを付けてください。

(2) 由来

伝承によると200年もの間、門外不出で前之浜地区に伝えられているとされている。元々は男子のみで踊られていた。戦の際になかなか敵城を落とせないため、化粧をして女性に化け、敵を油断させて攻めたという故事に由来するという説もあるが、定かではない。扇子と刀を持って戦闘の様子を再現するが、地元では慶事の際に踊られてきた伝統がある。

(3) 構成等

鉦を持ち鬼面を被った二人に先導された踊り子が鉦を鳴らしながら厳かに入場する。踊り子の前歌に続き、年長者の踊り歌に合わせ、「サーサ、チョイのチョイ」の掛け声や、刀を勢いよく振りかぶり、扇子をぱっと開く動作が特徴である。優雅にして勇壮な踊りと表される。

5 保存会や地域との連携の具体

昔は前之浜の川上集落に伝わるものだったが、時代の流れとともに前之浜全体で踊られるようになり、現在はチョイのチョイ踊り保存会が中心になって、地域の伝統芸能を守っている。保存会の指導に当たって「個性あふれる学校づくり推進事業」を活用し、講師の負担軽減と伝承活動の持続に取り組んでいる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

前之浜小学校では、郷土への愛情や誇りをもち、そのよさを守り伝え、その発展に主体的に貢献しようとする態度を育むために、3・4年生が総合的な学習の時間に郷土芸能「チョイのチョイ踊り」を学んでいる。

保存会の方を講師に、踊りの歴史について調べ、実際に踊りを教わる。保存会の方々の熱い指導もあって、子供たちはみるみる上達していく。そして、運動会で新しく踊りをマスターした3・4年生と5・6年生全員で華麗に舞う。本年度は、市教育委員会主催の「さつまっ子育成市民大会」において、多くの

市民の前で披露する機会にも恵まれた。今後も、たくさんの場で伝承した踊りを披露する子供たちの姿を楽しみにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

○練習風景



○運動会での発表



○さつまっ子育成市民大会での発表



8 参加児童生徒・教員等の感想・意見

（保存会への児童お礼状より）

- ・ 私にとって初めてのチョイのチョイ踊りでしたが、丁寧に教えてくださり、本番でも最後まで踊り切ることができ「踊ってよかった」と思えました。
- ・ 前之浜小ではいろいろな活動をしています、特に自慢できるのが「チョイのチョイ踊り」です。児童数は少ないけれど、これからもこの伝統芸能を引き継いでいきたいと思えます。
- ・ 一年ごとに踊りが上手になり、6年生になってからは後輩たちにも教えられるようになりました。さつまっ子市民育成大会でも練習通りにしっかりと踊ることができ、とても嬉しかったです。

（教師の感想より）

本年度も感染症対策の為に練習時間を短縮して行ってきたが、保存会の皆様の熱心なご指導と子供達の頑張りで、大運動会・さつまっ子育成市民大会という大きな舞台上で堂々と披露することができた。これからも前之浜の素晴らしい伝統に誇りをもち、子供たちにこの踊りを受け継いでほしい。